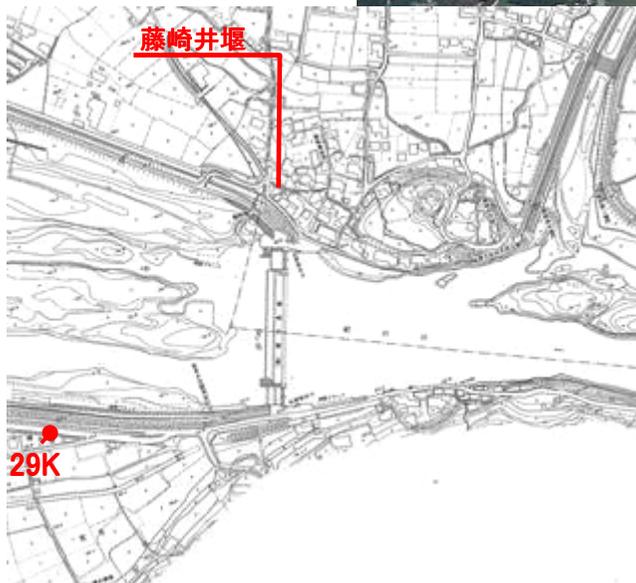
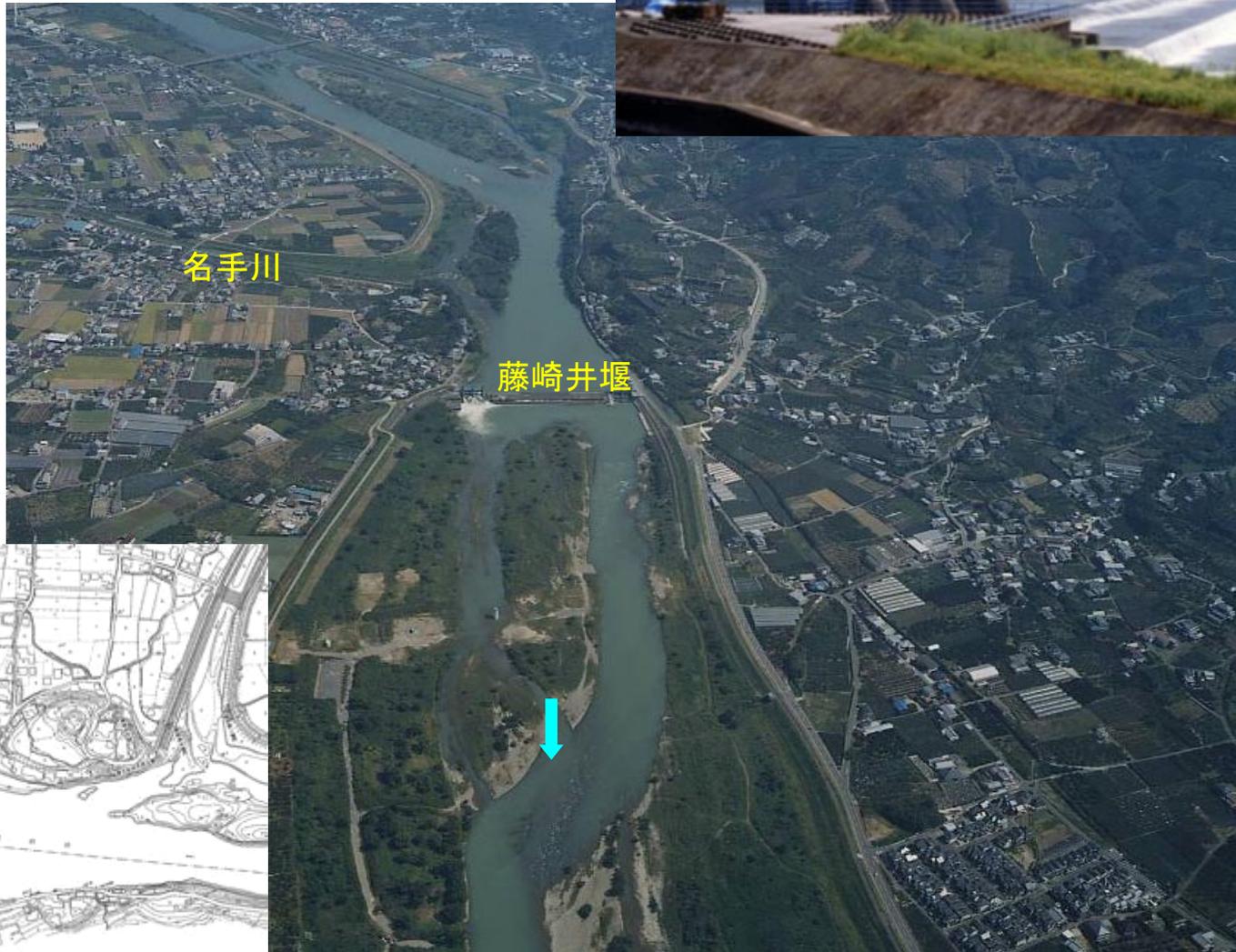
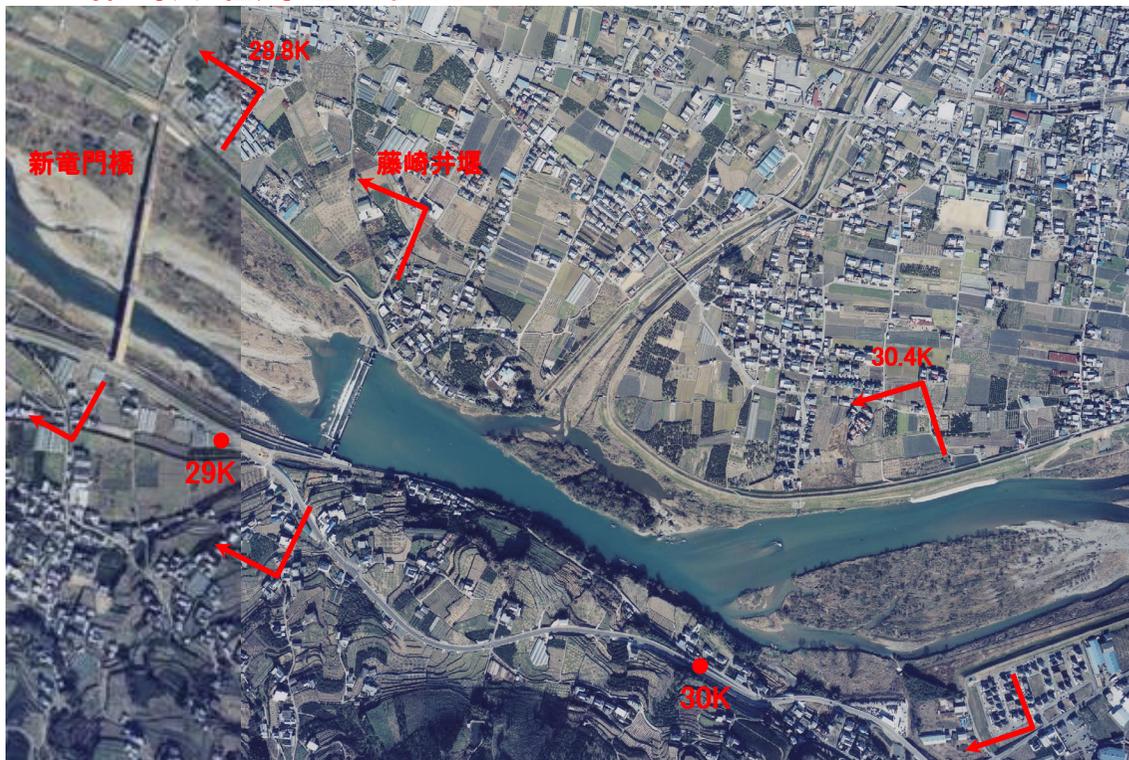


狭窄部対策(藤崎)

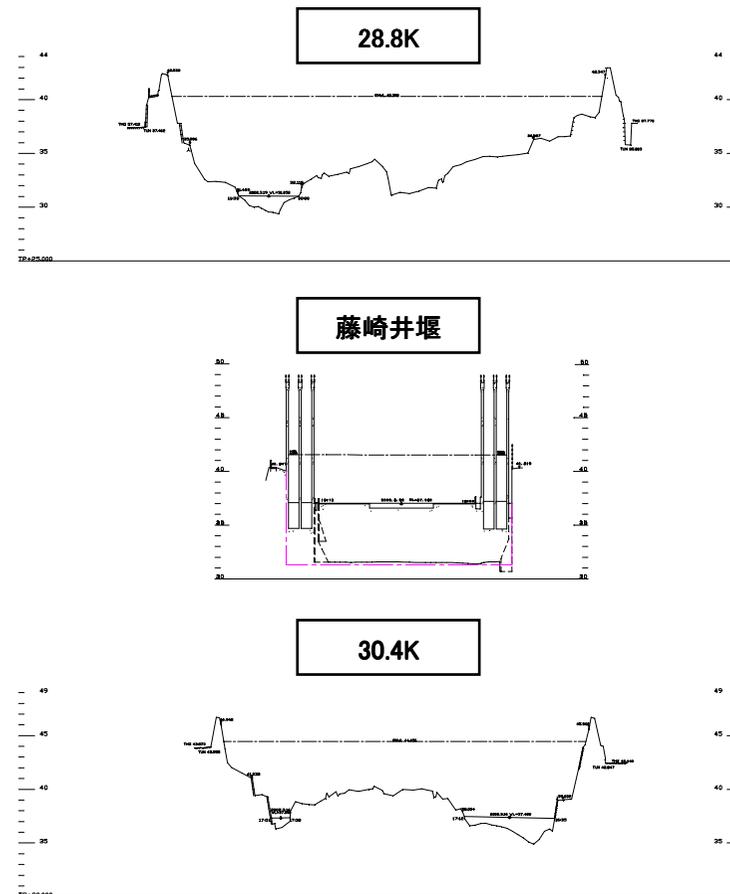


藤崎井堰周辺の現状

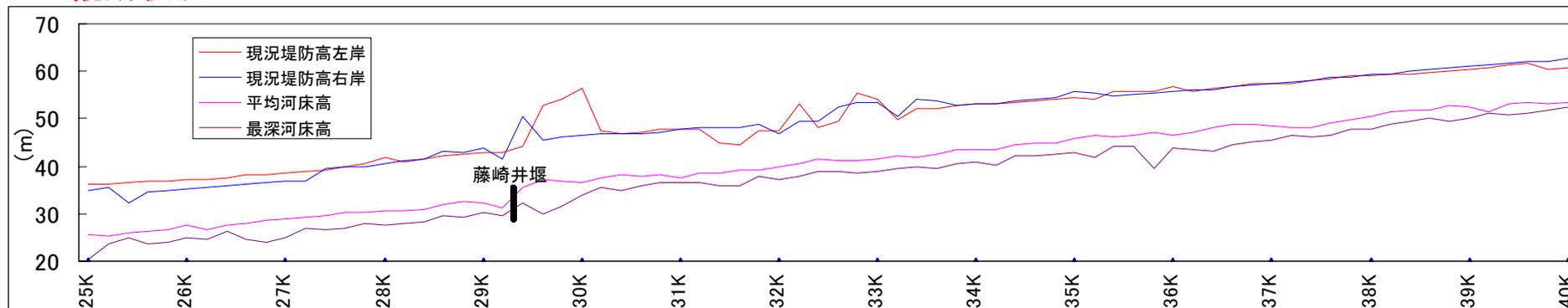
▼藤崎井堰周辺の状況



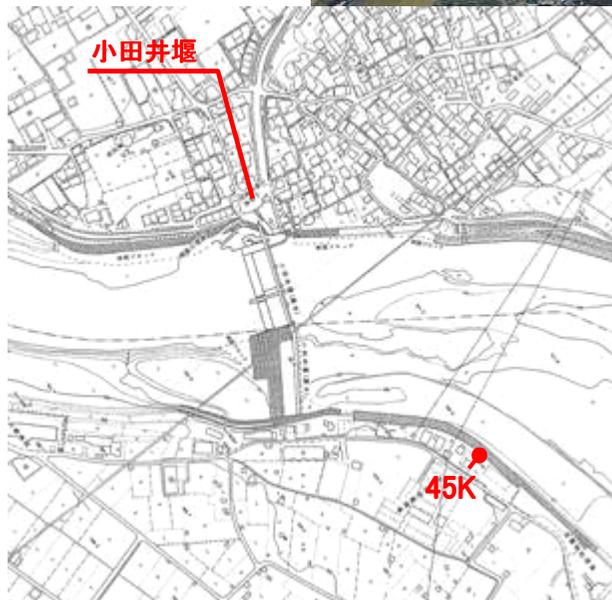
▼横断状況



▼縦断状況



狭窄部対策(小田)

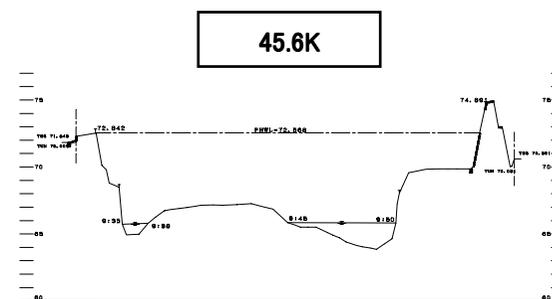
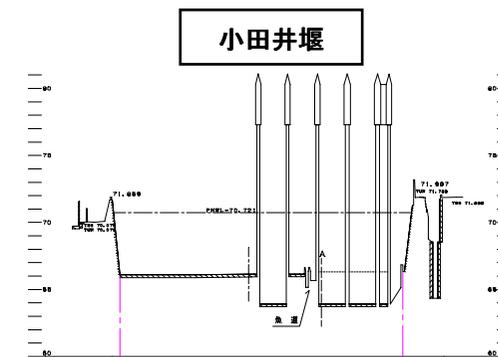
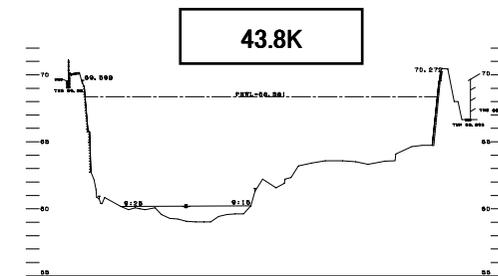


小田井堰周辺の現状

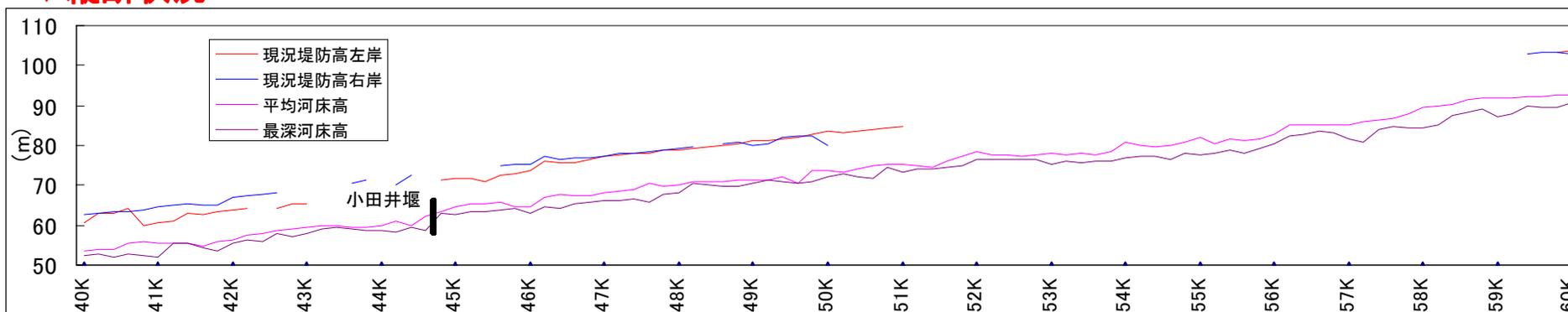
▼小田井堰周辺の状況



▼横断状況



▼縦断状況



各狭窄部における流下能力不足量

各狭窄部における流下能力は、以下のとおりである。

	岩出	藤崎	小田
流下能力	6,430	4,610	5,230
S34.9 (1.0倍) 流出量	6,640	6,200	5,840
S34.9 (1.0倍) 不足量	210	1,590	610
S34.9 (1.0倍) 遊水地後の流出量	6,480	6,040	5,660
S34.9 (1.0倍) 遊水地後の不足量	50	1,430	430

※本算定結果は、洪水カット量と遊水地の貯留量が等しくなるように設定しているが、実際にはこのような理想的な越水はほとんどない。

そのため、今後遊水地の効果検証においては、以下のような詳細な検討が必要である。

- ・横越流計算を組み込んだ氾濫解析
- ・水理模型実験